

群馬県菅緑町土地改良事業計画書  
(第二回変更)

( 区 画 整 理 )

群 馬 県

# 目 次

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気 象	2
1.	一般気象	2
2.	特殊気象	3
第2節	土地状況	4
1.	地形、土壌及び侵食の程度	4
2.	土地分類	4
3.	土地利用の状況	5
4.	土地所有の状況	5
第3節	水利状況	6
1.	用水状況	6
2.	排水状況	8
3.	河川状況	10
第4節	道路現況	11
1.	道路概況	11
2.	主要道路一覧表	12
第5節	地域農業の概況	13
1.	産業別就業人口	13
2.	経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況 並びに専兼業別農家数	14
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	15
4.	主要作物作付状況	16
5.	農業の動向	17
第6節	地域環境の概況	18
第4章	一般計画	19
第1節	事業計画の要旨	19
1.	要旨	19
2.	事業別面積	19

第2節	営農計画及び土地利用計画	19
1.	営農計画の概要	19
2.	土地利用区分	20
3.	作付方式	20
4.	生産計画	21
5.	労働改善計画	22
第3節	用水計画	23
1.	計画基準年	23
2.	計画かんがい方式	23
3.	計画用水系統	23
4.	計画用水量	25
5.	水源計画	25
第4節	排水計画	27
1.	計画基準雨量	27
2.	計画排水方式	27
3.	計画排水系統	27
4.	計画排水量	29
5.	排水対策	29
第5節	道路計画	30
1.	道路及び索道	30
2.	路線配置図	30
第6節	農用地造成計画	32
第7節	洪水調節計画	32
第8節	干拓計画	32
第9節	農用地整備計画	32
1.	区画整理	32
第5章	主要工事計画	35
第1節	用水施設	35
1.	貯水池	35
2.	頭首工	35
3.	揚水機	35
4.	用水路	35

第2節	排水施設	35
1.	排水水門	35
2.	排水機	35
3.	排水路	36
第3節	道路及び索道	37
1.	道路	37
第4節	農用地造成	38
第5節	洪水調節施設	38
第6節	干拓施設	38
第7節	農用地整備施設	38
1.	区画整理	38
第6章	付帯工事計画	39
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	39
第8章	環境との調和についての配慮	39
1.	環境との調和への配慮の方針	39
2.	環境との調和への配慮に伴う配慮内容	39
第9章	換地計画の概要	40
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	40
第2節	換地区の設定	40
1.	換地区の名称、所在、地積	40
2.	換地区を設定しない理由	40
第3節	換地計画樹立の基本方針	40
1.	従前の土地の地積の基準	40
2.	用途別予定地積	41
3.	農用地集団化の方針	42
4.	非農用地換地の方法	42
第4節	土地の評価及び清算の方法	43
1.	評価の方法	43
2.	清算の方法	43
第5節	換地計画樹立の年度計画	43
第6節	換地処分の時期に関する特例	43
第10章	事業費の総額及び内訳	44
第11章	効用	44
第12章	関連する事業	45

第13章	現況・計画図面	45
1.	現況平面図	
2.	計画平面図及び土地利用計画図	
3.	主要構造図	

## 第1章 目的

本地区は、太田市の北東部に位置し、標高56m～62mに展開する、水田主体の地域である。地形は東に向かい平均1/180程度の緩やかな傾斜を成している。地質は、非固結水成岩を母材とした強粘質土である。気象は年間平均気温14.5℃で年間降水量1,100mmの比較的温暖な地域である。最近では北関東自動車道も建設され、また、太田インターチェンジも近いことから都心へのアクセスも容易となっている。地区周辺の農地については、整備済みで営農も盛んに行われているが、本地域は区画形状が不整形で耕作道及び用排水路も未整備なため営農に支障を来しており、また、耕作者の高齢化が進み年々耕作放棄地が増加している。このため、区画整理を実施し、営農の近代化、生産性の向上を図るとともに、農村の生活環境の改善を図ろうとするものである。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

群馬県太田市緑町の一部

### 第2節 地積

(令和7年11月現在) (第2表)

市町村名 \ 現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
太田市	21.6	0.9	-	-	5.4	27.9	図測面積
計	21.6	0.9	-		5.4	27.9	

### 第3章 現況

#### 第1節 気象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	前橋地方气象台	かんがい期	6月～9月	非かんがい期	10月～5月	計又は平均	備考
観測期間	H.元年～R.7年						
平均気温 ( )		24.5	10.5	17.5			
年降水量	平均 (mm)	751.9	501	1,252.9			
	基準年 (mm)	429.5	450.0	879.5	昭和35年		
降雨日数	平均 (日)	52	48	100			
	基準年 (日)	35	53	81	昭和35年		
根雪期間		-月 -日～ -月 -日 ( -日間)					
無霜期間		4月 1日～ 11月 15日 ( 229日間)			前橋 平均値 (H1～R7年)		
最多風向		北北西	最大風速 (風向)	15.8m/s (東南東)	最多風向発生時期	1月～ 12月	
					最大風速発生年月日	H.2年9月20日	

## 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		備考
	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	数量 (年月日)	発生 確率	
M.30年～R.7年											
最大日雨量(mm)	357.4 S22.9.15	1/300	262.4 S30.8.6	1/220	233.5 R1.10.12	1/40	201.0 H11.8.14	1/25	180.0 S33.9.26	1/20	
最大時間雨量(mm)	114.5 H9.9.11	1/65	94.0 S30.8.16	1/25	82.0 S52.7.26	1/15	81.4 S36.8.18	1/14	81.4 S37.8.28	1/13	
最大4時間雨量(mm)	188.5 S30.8.16		145.2 S44.8.9		144.0 S37.8.28		134.0 S25.7.28		130.9 S15.9.6		
最大連続雨量(mm)	392.5 S22.9.13 ～S22.9.15		338.9 M43.8.6 ～M43.8.11		311.5 S57.9.10 ～S57.9.12		262.4 S30.8.6 ～S30.8.7		200.4 S25.7.27 ～S25.7.30		
最大連続干天日数 (日)	63 S56.12.3 ～S57.2.3	1/64	39 S58.11.25 ～S59.1.2	1/15	29 S56.1.3 ～S56.1.31	1/11	27 S60.12.8 ～S61.1.3	1/10	26 S55.10.26 ～S55.11.20	1/9	

第2節 土地状況

1. 地形, 土壌及び侵食の程度

(令和7年11月現在) (第4表-1-1)

地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	1/1000 以下	1/1000 ~1/100	1/100~ 1/20	1/20~ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ~8°	8°~ 15°	15°~ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
傾斜区分															
面積(ha)	-	21.6	-	-	-	21.6	0.9	-	-	-	-	0.9	62	56	
比率(%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	100			

(第4表-1-2)

項目 土壌 統(区)名	土 壌 統 ( 区 ) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)	備 考
	土 壌 断 面								堆積様式	母 材		
	色	腐 植	礫 層	酸化沈澱物	土 性			泥炭層、 黒泥層、 グライ層				
					表土	下層土						
				一層	二層	三層						
大平統	灰 褐	な し	な し	糸根、膜含	強粘質	強粘質		なし グライ層50cm以 内より有り	水 積	非固結水成岩	27.9	
計											27.9	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和7年11月現在)

(第4表-3)

土地利用別 市町村別	農 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
太田市	21.6	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	27.9	
計	21.6	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	27.9	

4. 土地所有の状況

(令和7年11月現在)

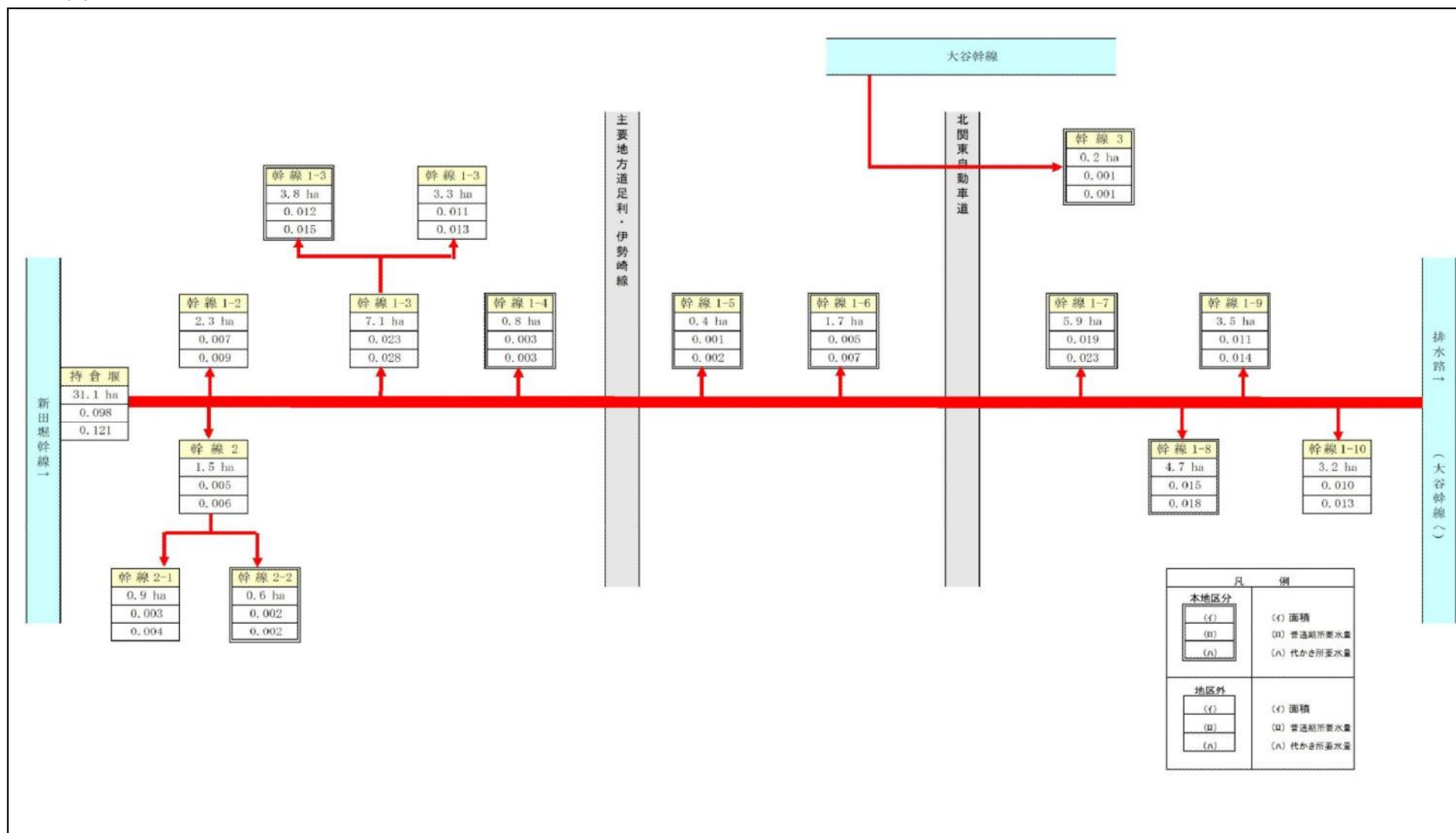
(第4表-4)

区分 所有別	個 人 有	市 町 村 有	県 有	国 有		計	備 考
面 積(ha)	23.2	4.7	-	-		27.9	
受 益 者 数	114	-	-	-		114	
筆 数(筆)	237	159	-	-		396	
権 利 関 係	所有権	法第5条第6項用地	-	-			
備 考 (関係戸数(戸))	97	-	-	-			

### 第3節 水利狀況

#### 1. 用水狀況

##### (1) 用水系統



## (2) 用水施設

## (ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
	500ha以上		500ha～100ha		100ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	水利権 上段 代播期 下段 普通期 ( )内は地区外を含む。
井堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
自然取水口	-	-	-	-	1	21.6 (31.3)	1	21.6 (31.3)	1	0.122 0.103	-	-	0.122 0.103	
揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	1	21.6 (31.3)	1	21.6 (31.3)	1	0.122 0.103	-	-	0.122 0.103	

## (イ) 改修を要する施設一覧表

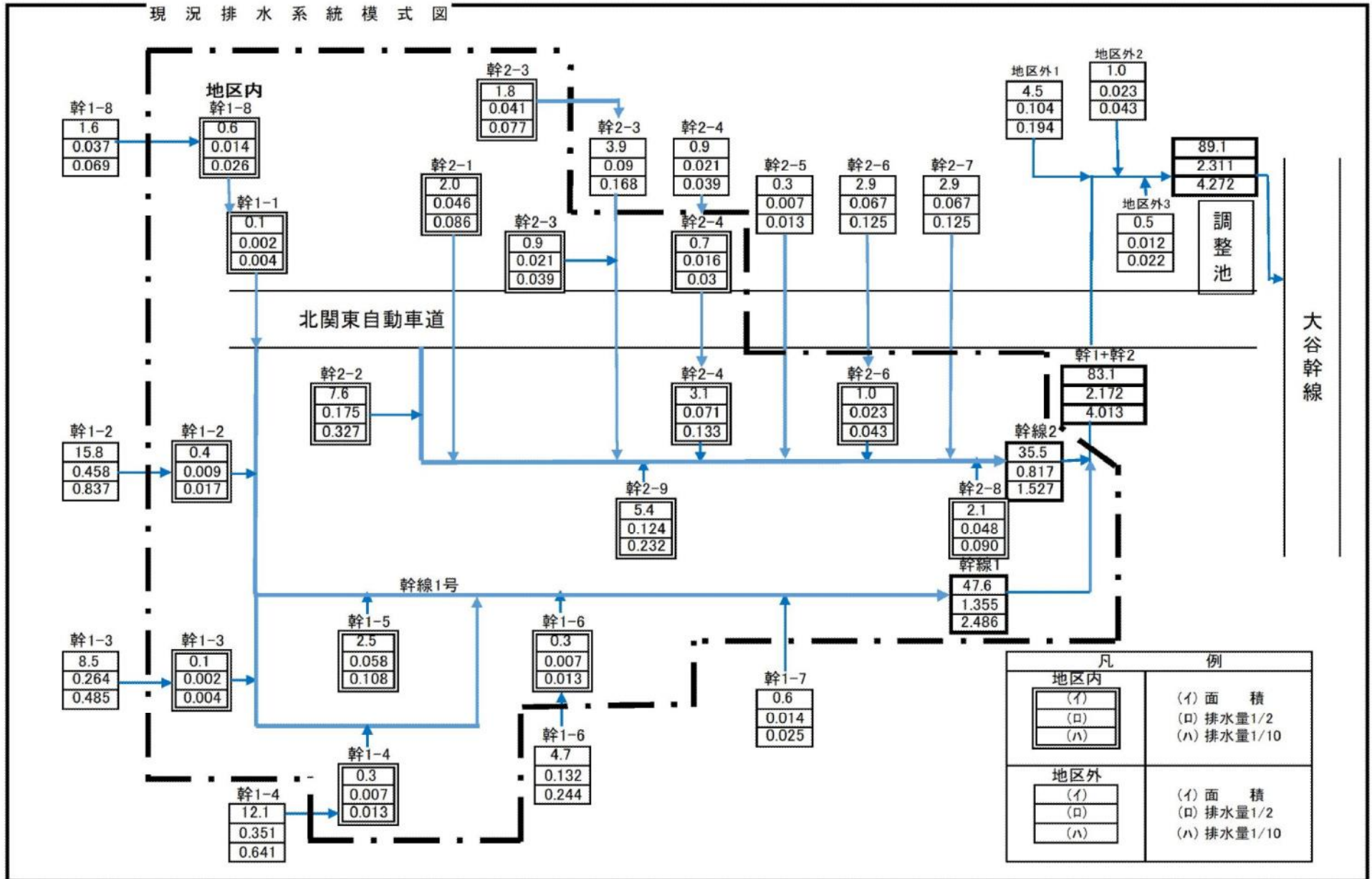
(第5表-2)

項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
貯水池	-	-	-	-	-	-	
井 堰	-	-	-	-	-	-	
自然取水口	-	-	-	-	-	-	
揚 水 機	-	-	-	-	-	-	
用 水 路	-	21.6	U字溝及び土水路	2,761m	不明	区画整理による、用排水分離	用排兼用
そ の 他	-	-	-	-	-	-	
計		21.6		2,761m			

## (3) 用水に関する被害状況

該当なし

2. 排水状況  
 (1) 排水系統



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覽表

(第5表-4)

施設名		項目		排水面積						計	排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
				500ha以上		500 ~ 100ha		100ha以下					
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
自然	排水路	-	-	-	-	15	0.5 ~ 89.2	15	0.5 ~ 89.2	4.272	5.2	整備済	
	水門	-	-	-	-	-							
機械	排水機	-	-	-	-	-							
	水門及び排水機	-	-	-	-	-							
	排水路及び排水機	-	-	-	-	-							
合計		-	-	-	-	15	0.5 ~ 89.2	15	0.5 ~ 89.2	4.272	5.2		

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

施設名		項目	施設名 又は 箇所	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
自然		排水路	15	22.5	U字溝及び 土水路	4,289m	不 明	区画整理による用排分離のため	排水路未整備
		水門							
機械		排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計			15	22.5		4,289m			

## (3) 排水に関する被害状況

該当なし

## 3. 河川状況

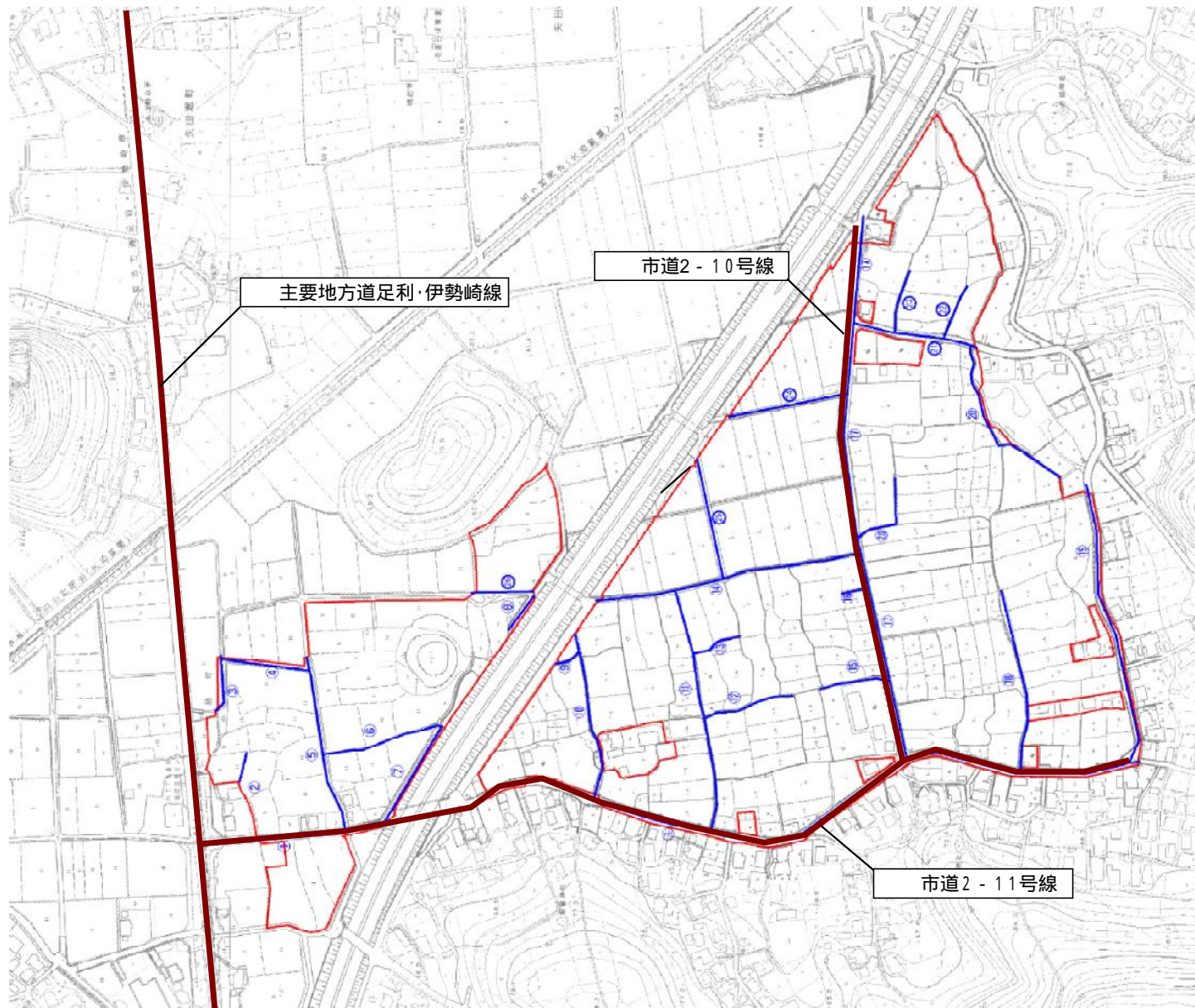
## (1) 河川の現況

該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況

現況道路模式圖





第5節 地域農業の概況

太田市の農業は、米麦や養蚕を主体とする農業生産を展開してきたが、養蚕の衰退を受けて、施設野菜、露地野菜、花卉園芸へと経営の転換が図られてきたが、不整形な区画・狭小な道路や排水路の未整備という諸条件下では、自ずと規模拡大等に限界が顕在化しつつある。

一方で、農業者の高齢化や兼業化・後継者不足などの背景はこの地域も例外ではなく、遊休農地の耕作放棄地化も徐々に進展してきており、地域活力の低下を招きつつある大きな要因となっている。

今後の営農としては、地域の特色を活かした一層のブランド化を推進し、消費者ニーズを踏まえた安全・安心・高品質化への指向に対応しつつ、意欲的に農業に取り組む担い手支援や産地体制の強化などにより育成すべき経営体を明確にした上で、収益性の高い農業経営の確立を目指すことが期待されている。

また同時に、京浜に近く市街地近郊という恵まれた地理的条件を活かして、目に見える形の環境保全型農業も取り入れつつ、地産地消をも定着させる基盤づくりによって安定した農業の発展を期す。

1. 産業別就業人口

(資料：令和2年国勢調査)

(第7表-1)

項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸 売 小売業 飲食店 (人)	金 融 保険業 (人)	不 動 産 業 (人)	サービ ス業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備 考
市町村名																
太田市	119,212	3,830	10	5	7	6,546	40,547	350	8,110	16,017	1,899	1,402	37,989	2,500	0	
計	119,212	3,830	10	5	7	6,546	40,547	350	8,110	16,017	1,899	1,402	37,989	2,500	0	
比 率(%)	100.0	3.2	0.0	0.0	0.0	5.5	34.0	0.3	6.8	13.4	1.6	1.2	31.9	2.1	0.0	

2. 経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況並びに専兼業別農家数

(資料：2020センサス) 令和7年11月現在

(第7表-2-1)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営農地広狭別農家数 (戸)											自給的農家
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha 以上	
太田市	3,306	0	65	270	539	356	155	156	110	91	41	19	1,504
計	3,306	0	65	270	539	356	155	156	110	91	41	19	1,504
比率(%)	100.0%	0.0%	2.0%	8.2%	16.3%	10.8%	4.7%	4.7%	3.3%	2.8%	1.2%	0.6%	45.5%

(資料：2020センサス) 令和7年11月現在

(第7表-2-2)

区分 市町村名	1戸当たり平均農用地面積 (ha)						農用地の分散状況		専兼業別農家数 (戸)			備考
	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり 団地数	団地当たり 面積 (ha)	専業	兼業		
										第一種	第二種	
太田市	0.57	0.51	0.00	1.08	0.00	1.08	-	-	1,774	1,532	-	総農家数 3306戸
計(平均)	0.57	0.51	0.00	1.08	0.00	1.08			-	-	-	
比率(%)	52.8%	47.2%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%			-	-	-	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(資料：2020センサス) 令和7年11月現在

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	動力耕運機 乗用トラクター		田植機		自脱型コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
太田市	2,868	1,953	1,033	1,022	941	919			2,113	41	-	51	12,246	4	総農家数 3,306 戸
計	2,868	1,953	1,033	1,022	941	919			2,113	41	-	51	12,246	4	
100戸当たり 数量(台,頭)	87		31		28				64		-		370		
利用戸数 割合(%)	59%		31%		28%				1%		2%		0%		

動力農機具については 2020農林業センサスに記載がないため 2015農林業センサスを参照



5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A	
変化の 状況  C年を 100と する 指数	販売農家数	79	60	耕 地	89	80	水 稻	90	78	乳用牛	85	73	トラクター	77	-	A：令和2年 (2020年農業センサス)  B：平成27年 (2015年農業センサス)  C：平成22年 (2010年農業センサス)
	専業農家数	97	-	田	86	82	麦 類	-	77	肉用牛	111	-	スピード スプレー	-	-	
	第一種兼業 農家数	75	-	畑	93	79	野菜類	68	70	豚	108	93	動 力 防除機	-	-	
	第二種兼業 農家数	67	-	樹園地	84	31	工芸作物 豆いも類	90	86	採卵鶏 (百羽)	90	159	田植機	69	-	
	農 業 従事者数	71	51				果 樹	-	-	ブリーダー (百羽)	-	-	自脱型 コンバイン	69	-	
変化の 理由	他産業への 労働力の流動  専業化への集約			都市化による開発			同 左			営農改善			労力の減少に伴う 機械化省力営農の定着			
地域指定等				農振 S.47年2月1日 野菜指定 秋冬ねぎ S.42年6月29日 ほうれんそう S.55年7月15日												

A：2020年農業センサス

B：2015年農業センサス

C：2010年農業センサス

## 第6節 地域環境の概況

太田市は、群馬県南東部に位置し、南に利根川、北に渡良瀬川という2つの豊かな水量を誇る河川に挟まれた地域である。市の北部には、緑豊かな八王子丘陵・金山丘陵があり、八王子丘陵標高は標高200m強の山頂が連なり、また、金山丘陵は標高235mの足尾山地から渡良瀬川の断層によって切り離された分離丘陵群のひとつで、そこに生息する多くの野生動植物など豊かな自然に恵まれた地域である。

本地域は、この八王子丘陵と金山丘陵に挟まれた位置にあり、自然環境と居住区域が共存する地域となっており、数多くの動植物や幾多の希少動植物も確認され、自然環境に恵まれた地域と言える。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

この計画は、農用地を集約し区画形質を変更するとともに、道路・農業用排水施設を整備して、農業生産性の向上を図ろうとするものである。

区域は、太田市北東部の緑町の27.9haであり、標準区画を30a(100m×30m)とする。小排水路はU字溝として管理の合理化を図るものとするが、多様種の生物地域であることから、これら生き物に配慮した環境配慮型の水路を積極的に取り入れる。

なお、換地により担い手への農地集積を念頭に置き、将来的な賃貸借に配慮した土地秩序を図る。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区画整理	21.0	1.0	-	5.9	27.9	図測面積による
計	21.0	1.0	-	5.9	27.9	

### 第2節 営農計画及び土地利用計画

#### 1. 営農計画の概要

本地区の営農計画は、水田では水稻と麦を中心とするが、水田の汎用化により水田の畑利用を進め転作作物として、各種野菜を導入した営農を指向する。営農改善の方向としては、近代的営農技術に対応した用排水路の改良とほ場整備を行うことにより、大型機械作業体系の確立を図り農業の近代化を推進し、生産性の向上を図る。



## 4. 生産計画

(第9表-3)

土地利用区分	項目 作物名	作付面積 (ha)		作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)		生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
		現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増減		
水田	水稲	13.7	13.7	63.0	63.0	488	498	66.8	68.2	1.4		1.4	水管理改良 (新設)	
		13.7	13.7	63.0	63.0	156	488	21.4	66.9	45.5		45.5	水管理改良 (更新)	
	表作	えだまめ		4.5		21.0	610	702		31.6	31.6	31.6	作付転換	
	表作	ブロッコリー		1.0		5.0	1,023	1,156		11.6	11.6	11.6	作付転換	
	表作	ねぎ		1.4		6.0	1,839	2,078		29.1	29.1	29.1	作付転換	
	裏作	小麦	1.0	7.0	5.0	32.0	396	396	3.9	27.7	23.8	23.8	作付転換	
		ほうれんそう		4.5		21.0	1,187	1,187		53.4	53.4	53.4	作付転換	
普通畑	表作	ねぎ	0.2	1.0	1.0	5.0	1,839	1,839	3.7	18.4	14.7	14.7	作付転換	
合計			14.9	33.1	69.0	153.0			95.8	306.9	211.1	164.2	46.9	

## 5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/ha)				備考
			区分	現況	計画	増減	
水田 畑	水稲	13.7	人 力	535.6	111.5	424.1	
			機 械 力	287.2	63.0	224.2	
	小麦	7.0	人 力	435.6	40.6	395.0	
			機 械 力	224.9	39.7	185.2	
	果菜類 1	4.5	人 力	753.1	325.5	427.6	えだまめ
			機 械 力	413.1	61.7	351.4	
	葉茎菜類 1	3.4	人 力	1,023.1	540.5	482.6	ねぎ、ブロッコリー
			機 械 力	413.1	139.2	273.9	
	葉茎菜類 2	4.5	人 力	807.2	373.2	434.0	ほうれんそう
			機 械 力	447.2	91.4	355.8	

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

昭和35年（利根川基準年による）

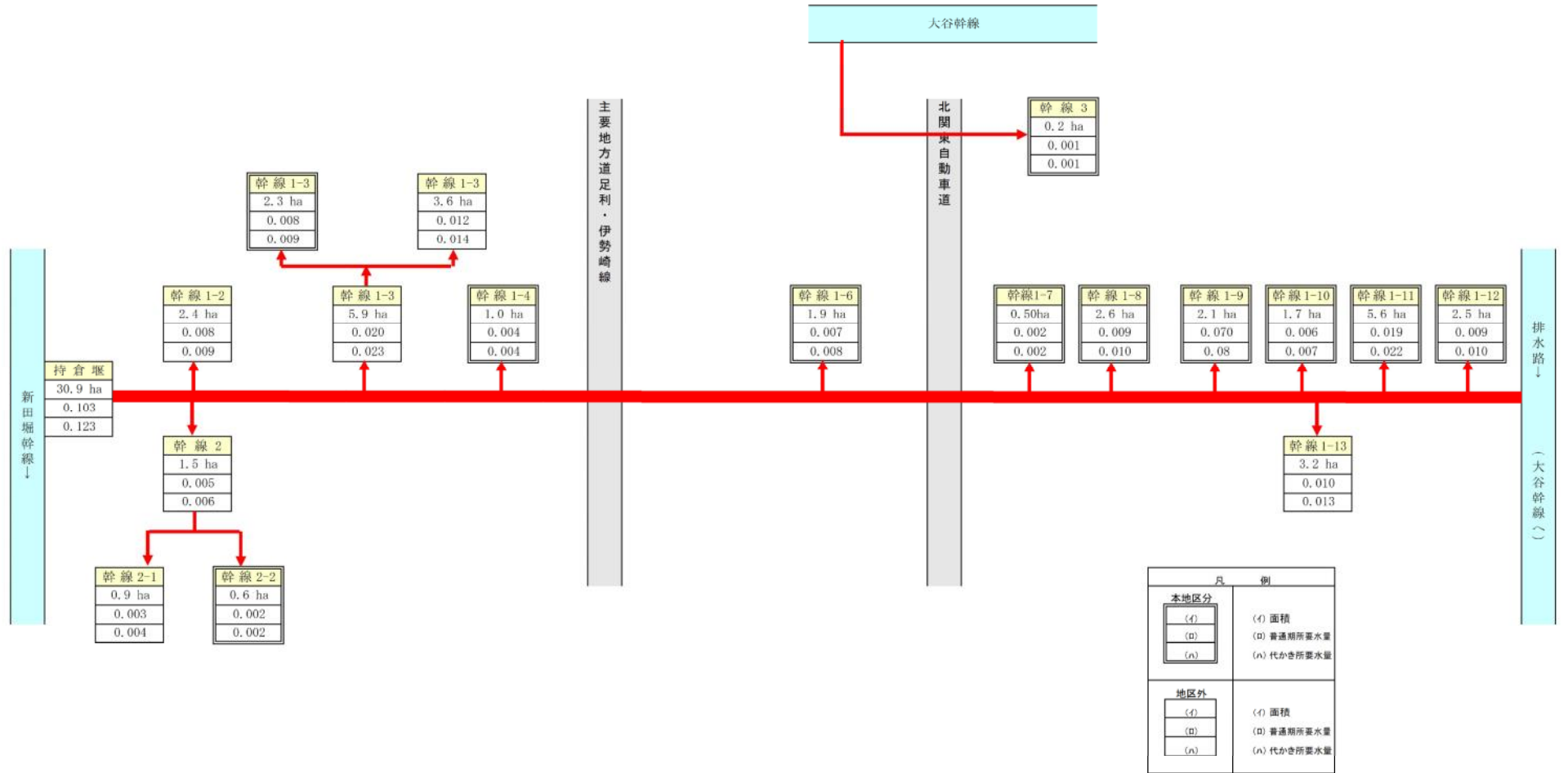
#### 2. 計画かんがい方式

水田	水稲	たん水かんがい	かんがい期間	6月6日～9月20日（代かき 左記の内20日間）
----	----	---------	--------	--------------------------

#### 3. 計画用水系統

別紙添付の計画用水系統模式図のとおり

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量	
		事業名			普通期	代掻期	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (m <sup>3</sup> /日)	面積 (ha)			平均 (m <sup>3</sup> /s)	最大 (m <sup>3</sup> /s)
		地区内	地区外	計	計画平 均単位 用水量 (mm/ 日)	計画代 掻単位 用水量 (mm/ 日)		(mm/ 日)	(日)		(mm/ 日)	(日)							
太田頭首工	農業用水	21.0	9.7	30.7	23	143	30.7	-	-	-	-	-	-	-	0.071	15	0.072	0.084	
															(0.026)	(15)	(0.031)	(0.038)	
															下段()は地区外				
計		21.0	9.7	30.7	23	143	30.7	-	-	-	-	-	-	-	0.097		0.103	0.122	

5. 水源計画

(1) 水利用計画

有効雨量 : 考慮しない  
 反復利用 : 考慮しない  
 損失率 : 地区内 15%  
           地区外 15%

(第10表-2-2-1)

区分	現 況 (m <sup>3</sup> /s)		計 画 (m <sup>3</sup> /s)		備 考
	代掻期	普通期	代掻期	普通期	
純用水量	0.071	0.058	0.071	0.061	( )内は、 地区外9.7haを含む
有効雨量	-	-	-	-	
損失水量	0.013	0.010	0.013	0.011	
全用水量	0.084 (0.122)	0.068 (0.099)	0.084 (0.122)	0.072 (0.103)	
利用 可能 量	太田頭首工	0.122	0.103	0.122	
	計	0.122	0.103	0.122	
不足量	-	-	-	-	

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	備考
	地区内	地区外	計				
支線用水路	21.0	9.7	30.7	0.084	3,167	コンクリートBF300～600	既設利用を含む
計	21.0	9.7	30.7		3,167		

## 第4節 排水計画

### 1. 計画基準雨量

群馬県農政部確率雨量計算システムより(北緯 $36^{\circ}19'30''$  ~  $36^{\circ}20'00''$ 、東経 $139^{\circ}22'30''$  ~  $139^{\circ}23'15''$ )

1/10年確率雨量を適用

- |       |          |          |   |
|-------|----------|----------|---|
| ( 1 ) | 24時間確率雨量 | 203.5 mm | ( 超過確率計算 )  |
| ( 2 ) | 4時間確率雨量  | 34.2 mm  | ( 長時間降雨強度式 $\dots\dots\dots 225.6 / ( T+2.6 )$ )    |
| ( 3 ) | 1時間確率雨量  | 62.5 mm  | ( 短時間降雨強度式 $\dots\dots\dots 5,658.0 / ( T+30.6 )$ ) |

### 2. 計画排水方式

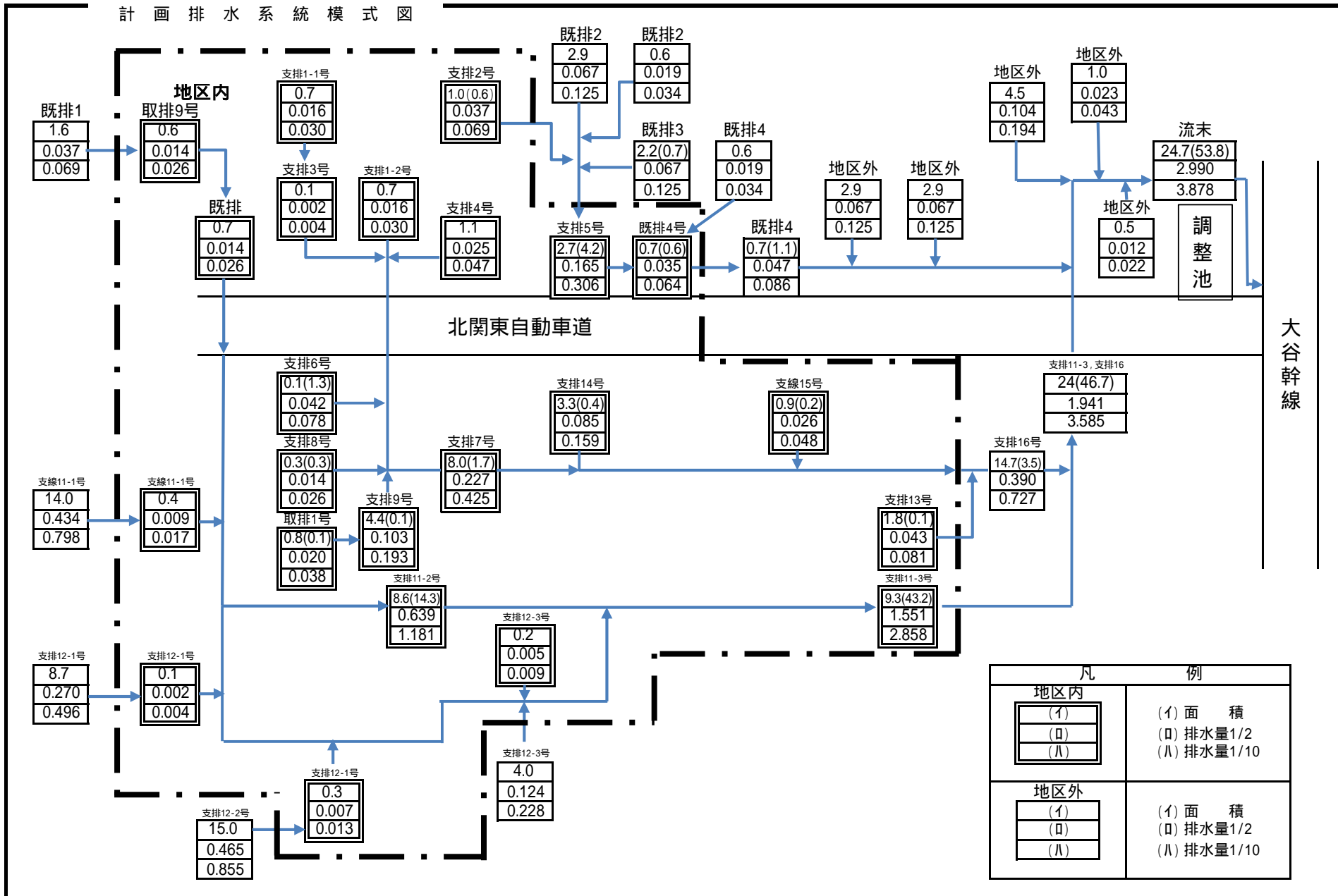
排水方式  $\dots\dots\dots$  自然排水

支線排水路  $\dots\dots\dots$  4雨量4時間排水 ( 流域面積 50ha未満の流域を有する水路 )

### 3. 計画排水系統

別紙添付の計画排水系統模式図のとおり

計画排水システム模式図



凡 例	
地区内	
(1)	(1) 面積
(2)	(2) 排水量1/2
(8)	(8) 排水量1/10
地区外	
(1)	(1) 面積
(2)	(2) 排水量1/2
(8)	(8) 排水量1/10

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)	流域面積 (ha)	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )	基底出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)		単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )	備考
						自然排水	機械排水		
支線排水路 (15路線)	22.0	0.1 ~ 53.8	34.2	2.300 ~ 4.300	-	4.272	-	4.795	
計	22.0					4.272			

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
						名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
支線排水路	0.1 ~ 53.8	22.0	-	4,619	コンクリート RDU303 ~ RDU1710	大谷幹線	5.2	55	既設利用を含む
計		22.0		4,619					

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効) (m) × 延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	5.0(4.0) × 2,160	アスファルト舗装、 砂利舗装	全て上位又は同格の道路と連絡	
支線道路	7.0(5.5) × 362	アスファルト舗装	〃	
取付道路	4.0(3.0) × 273	アスファルト舗装	〃	
支線道路(既設利用)	5.0(4.0) × 1,737	アスファルト舗装	〃	
計	4,532			

(2) 索道

該当なし

2. 路線配置図

別添計画道路路線配置模式図のとおり

計画道路路線配置模式図



第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (a)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
水田 畑	100m × 30m	30	5.1	23	0.2
	75m × 40m	30	14.8	67	0.2
	端田区	30未満	2.1	10	0.2
	小 計		22.0	100	
計		22.0			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

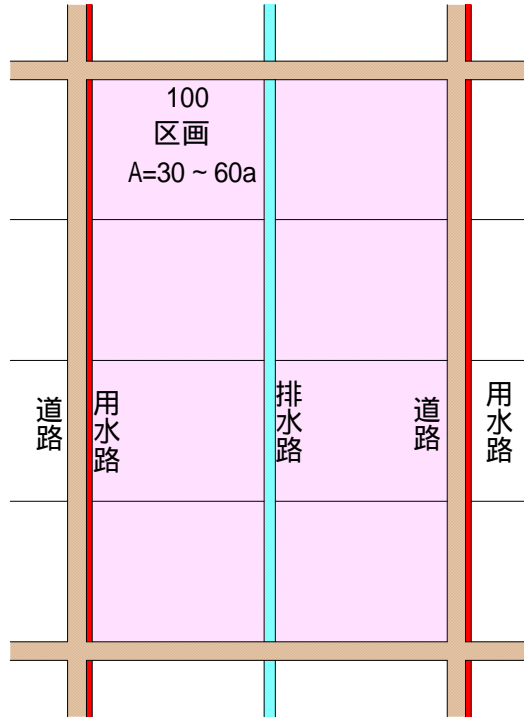
面積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
18.8	有効土層内に不良土(砂礫等)混入	20	37,600	水田
18.8		20	37,600	

(3) 末端道水路配置図

別紙添付模式図のとおり。

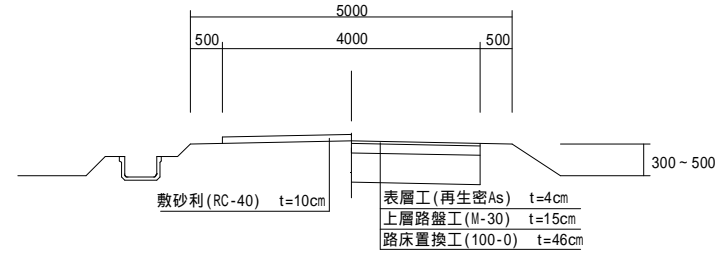
# 末端道水路模式図

## 標準区画割図



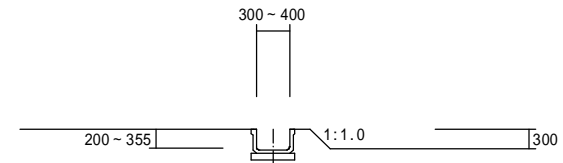
## 標準構造図

### 支線道路



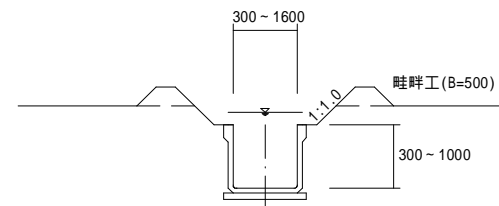
### 用水路工標準図

BF300 ~ 400



### 排水路工標準図

RDU300 ~ 1600



## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし
2. 頭首工 該当なし
3. 揚水機 該当なし
4. 用水路

(第17表-4)

項目 名称	かんがい面積(ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事業名				開渠	トンネル・その他	計				
	地区 内	地区 外	計								
支線用水路	21.0	9.7	30.7	0.010 ~ 0.054	3,167		3,167	コンクリート BF300~600	1/750~ 1/1,000	横断工	既設利用を 含む
計	21.0	9.7	30.7		3,167	0	3,167				

### 第2節 排水施設

1. 排水水門 該当なし
2. 排水機 該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
			開渠	トンネル・その他	計				
支線排水路 (15路線)	22.0	0.022 ~ 2.765	4,619		4,619	三面水路	1/200 ~ 1/1,000	横断工	既設利用を 含む
計	22.0		4,619	0	4,619				

### 第3節 道路及び索道

#### 1. 道路

##### (1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅 × 延長 (有効)(m) (m)	構造	付帯構造物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	1 路線	7.0(5.5) × 362	アスファルト舗装				-	-	-	
支線道路	12 路線	5.0(4.0) × 2,160	アスファルト舗装 敷砂利舗装				-	-	-	
取付道路	3 路線	4.0(3.0) × 273	敷砂利舗装							
支線道路 (既設利用)	7 路線	5.0(4.0) × 1,737	アスファルト舗装 敷砂利舗装				-	-	-	
計	23 路線	4,532								

##### (2) 道路主要構造物

該当なし

第4節 農用地造成  
該当なし

第5節 洪水調節施設  
該当なし

第6節 干拓施設  
該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

区 分	全体面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画 (ha)	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
全区田	21.0	75m × 40m		18.8	37,600	
全区畑	1.0	60m × 50m				
計	22.0			18.8	37,600	

## 第6章 付帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和 2年度

完了 令和10年度

## 第8章 環境との調和についての配慮

### 1. 環境との調和への配慮の方針

本地区は、田園環境整備マスタープランに基づく環境配慮区域であり、地区内に両生類のトキヨウガエルが生息しており、水田環境を畦や水路まわりの配慮により保全することが可能である。生息・生育空間に配慮した排水路を整備を行い、多種多様な生物が棲息可能な空間の維持・保全を目的として、生態系に配慮した整備を行う。

### 2. 環境との調和への配慮に伴う配慮内容

#### (1) 位置

別紙平面図及び構造図のとおり

#### (2) 配慮内容

- ・ 環境配慮水路 一式

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

この事業は、農用地の集団化と農業生産基盤の整備向上を目的とし、土地の区画形質の変更を必要とするため、これに伴う換地計画を樹立する。

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、地積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	地積(ha)	備考
設定なし	太田市緑町	27.9	

#### 2. 換地区を設定しない理由

本地区は、北関東自動車道で受益地を分断されているが、全体で約27.9haの規模であることや団地間で極端な相違状況も見当たらないことから、換地区の設定は行わない。

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
設定なし	○ 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、この土地改良事業の計画の概要を公告した日の登記簿地積とする。 なお、この土地改良事業計画の概要を公告した日から1ヶ月以内に測量士又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、申出のあった地積とする。	

2. 用途別予定地積

(単位：ha)

(第25表-3)

用途 前後 換地区名	農用地					道路水路等										非農用地										合計				
	一般農用地				創設農用地	計	機能交換に係る土地				通常事業施行地に含める土地			創設土地改良施設用地			計	農用地利用計画地	特定用途地			一般国有地	異種目換地	創設非農用地					計	
	田	畑	草地	小計			国	県	市町村他	小計	土地改良施設	がけ・やぶ等	小計	土地改良区	その他	小計			宅地	その他	小計			生活経営上必要な施設 (1)	農業経営合理化施設 (2)		公用公共施設用地 (3)	宅地等		小計
	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地	換地	従前の土地		換地			
設定なし	21.6	0.9	-	22.5	22.5	-	-	4.7	4.7	-	-	-	4.7	-	0.7	-	0.7	-	-	-	-	-	-	0.7	27.9					
	21.0	1.0	-	22.0	22.0	-	-	5.1	5.1	-	-	-	5.1	0.7	-	0.7	-	-	-	0.1	-	0.1	0.8	27.9						
合計	21.6	0.9	-	22.5	22.5	-	-	4.7	4.7	-	-	-	4.7	-	0.7	-	0.7	-	-	-	-	-	0.7	27.9						
	21.0	1.0	-	22.0	22.0	-	-	5.1	5.1	-	-	-	5.1	0.7	-	0.7	-	-	-	0.1	-	0.1	0.8	27.9						

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
設定なし		集落別集団化 地目別、作物別集団化	従前地の密集した位置 を中心に換地する。	概ね2団地	移動畦畔 区画の設定に当たり、短辺が10m以下となるよう な設定はしない。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

換地区名	用途	非農用地区域の位置の概要	地積 (ha)	換地の手法	換地取得予定者	最終取得予定者
設定なし	道路用地	別添計画図に示した位置	0.1	特別減歩による 創設換地	太田市	太田市
	点在非農用地	概ね従前地の位置に換地	0.7	特定用途用地換地	従前地所有者	従前地所有者
計			0.8			

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

##### 1. 評価の方法

標準地比準方式による。

##### 2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式とする。

ただし、非農用地区域内に換地する土地については、従前の土地の地積と換地の地積の差積についてのみ清算する。

#### 第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名 / 区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画決定の予定年度	換地処分予定年度	備考
設定なし	令和4年度～令和9年度	令和9年度	令和10年度	

#### 第6節 換地処分の時期に関する特例

当地区は、区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず工事完了公告前に換地処分を行うことができるものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

事業名	区画整理	備考
工事費	830,000	令和7年度単価
主要工事	830,000	
付帯工事	-	
事務費	41,500	
計	871,500	

第11章 効用

(第27表-1)

区分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備考
作物生産効果	20,060	26,582	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	20,530	21,180	〃
維持管理節減効果	326	-	〃
耕作放棄防止効果	5	-	農業の持続的発展に関する効果
農業労働環境改善効果	819	-	〃
地籍確定効果	519	-	農村の振興に関する効果
非農用地等創設効果	66	-	〃
国産農産物安定供給効果	6,214	-	その他効果
計	47,887	47,762	

(参考)	総費用(現在価値化)	1,023,533 千円		
	総便益額(現在価値化)	1,129,242 千円	割引率	0.04
	総費用総便益比	1.10	評価期間	49年

第12章 関連する事業

該当なし

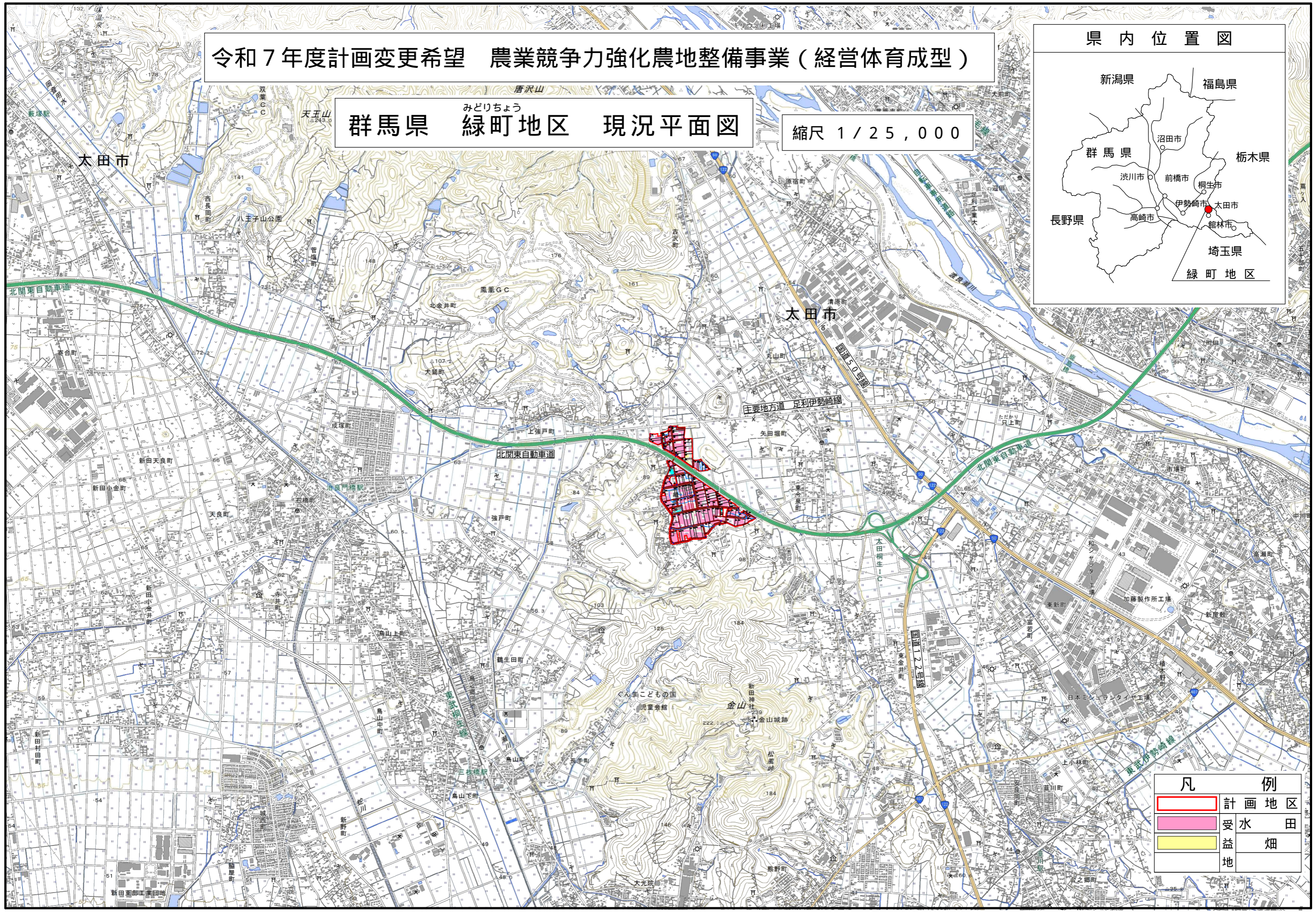
第13章 現況・計画図面

- |                   |       |    |
|-------------------|-------|----|
| 1. 現況平面図          | ..... | 別添 |
| 2. 計画平面図及び土地利用計画図 | ..... | 別添 |
| 3. 主要構造図          | ..... | 別添 |

令和7年度計画変更希望 農業競争力強化農地整備事業（経営体育成型）

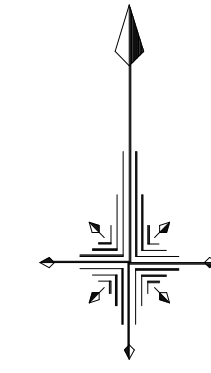
群馬県 みどりちょう 緑町地区 現況平面図

縮尺 1/25,000



凡 例	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	計画地区
<span style="background-color: pink; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	受水田
<span style="background-color: yellow; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	益地
<span style="background-color: white; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	畑

# 計画平面図及び土地利用計画図



S=1:2,000(A1)  
S=1:4,000(A3)

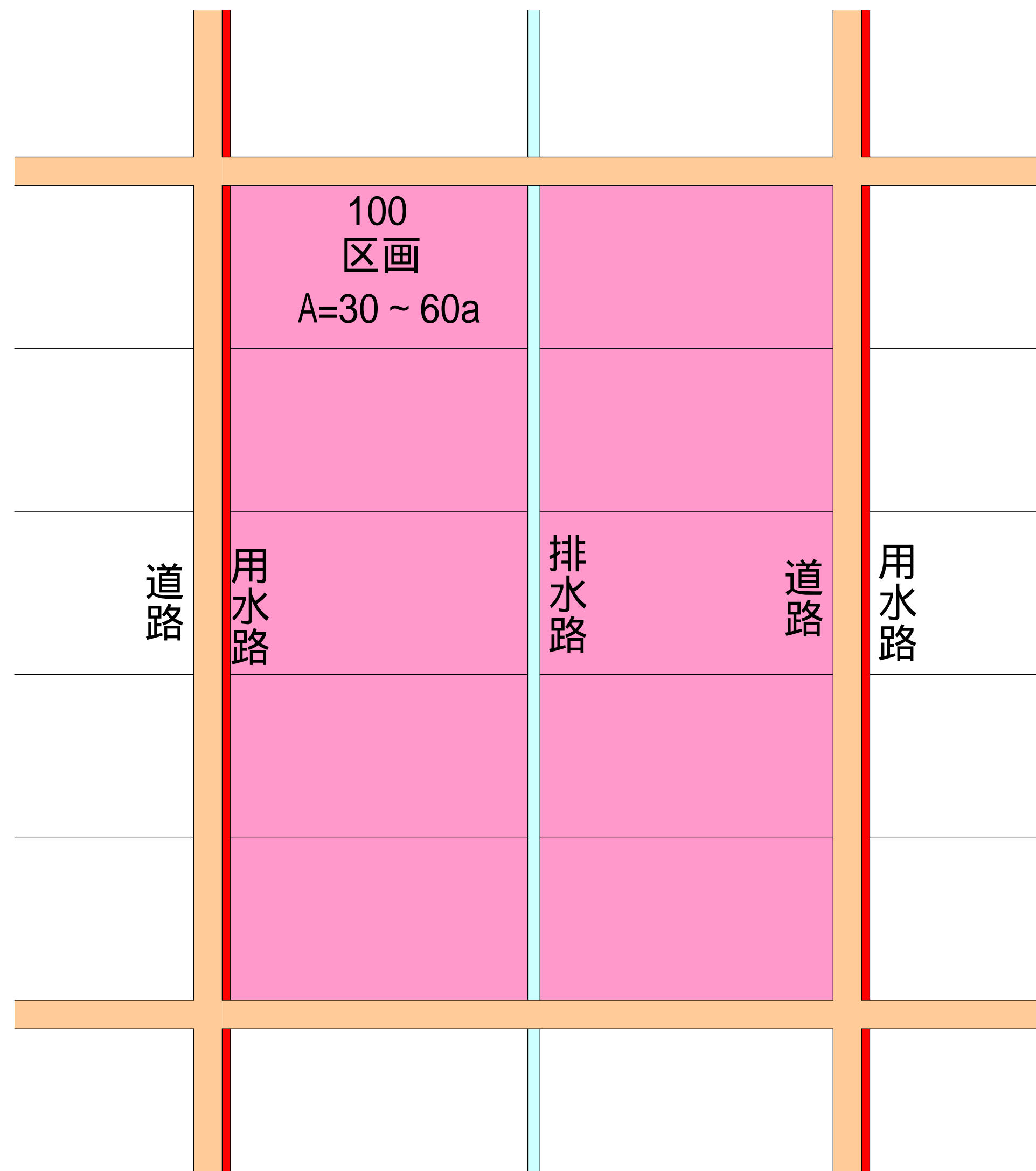
事業概要	
受益面積	A=22.0ha
概算事業費	651,600千円
主要工事	
整地工	A=22.0ha
道路工	L=4.5km
排水路工	L=4.6km
用水路工	L=3.2km
事業主体	群馬県

凡例	
記号	事項
	地区界
	水田
	畑
	点在非農用地
	創設非農用地
	支線道路(1)
	支線道路(2)
	道路既設道路
	支線用水路
	支線用水路(既設利用)
	支線排水路
	支線排水路(既設利用)



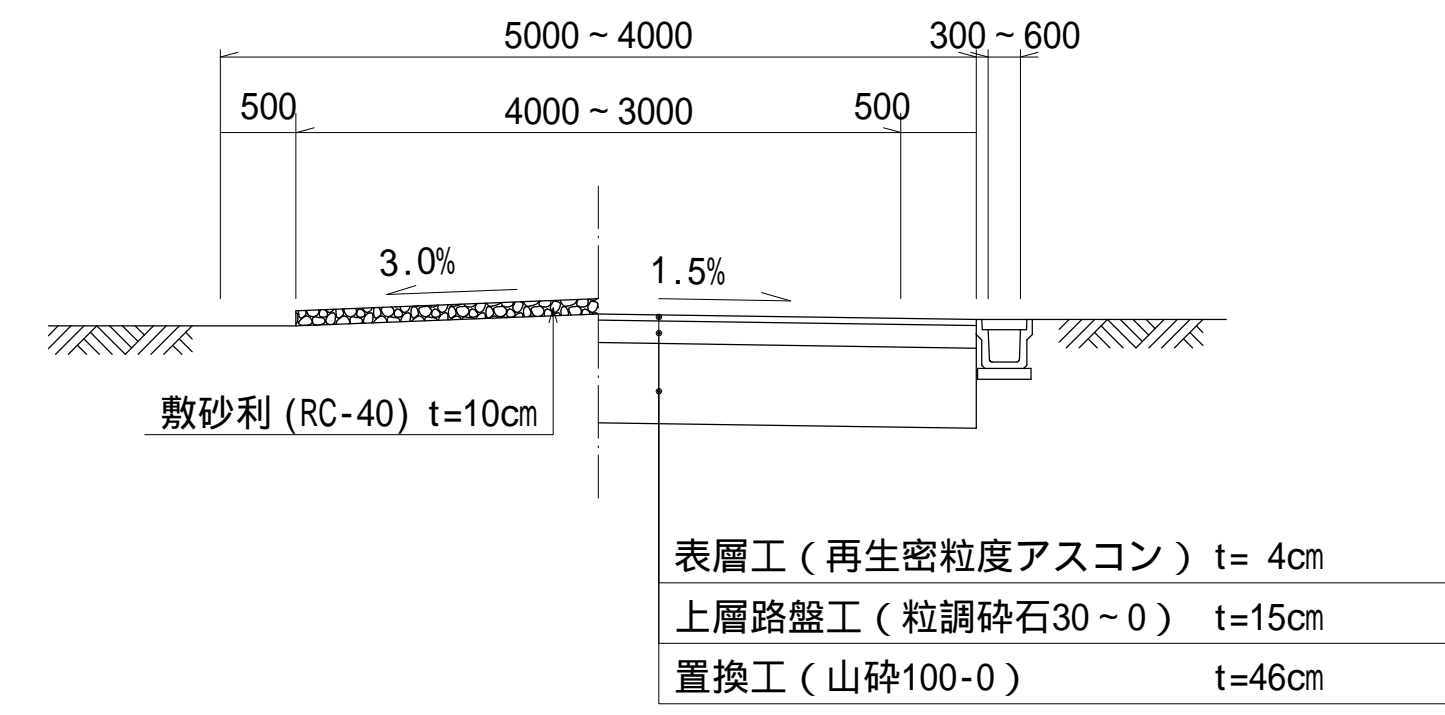
# 主要構造図

## 標準区画割図



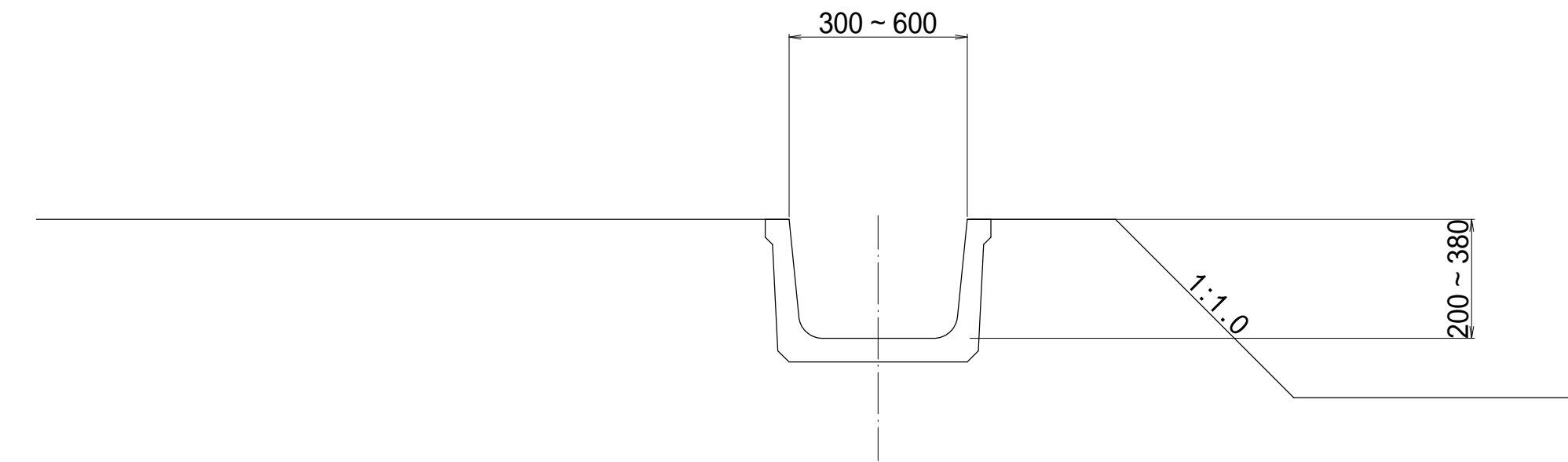
## 標準構造図

### 支線道路



### 用水路工

BF300 ~ 600



### 排水路工

RDU300 ~ 1700

